令和4年度

土 岐市公営企業会計
決 算 審 査 意 見 書

土岐市監査委員

	1	審	查	\mathcal{O}	対象	Ŕ		
	2	審	查	Ø ;	期 間	司		
	3	審	查	Ø]	方 活	Ė		
	4	審	查	Ø ;	結 身	Ę		
病		院	事	業	会	計		
		1	決	算	報	告	書	
		2	損	益	計	算	書	
		3	貸	借	対	照	表	
		4	む	す	び			
		別表	1	予算	決算	対照	表	
		別表	2	比較	損益	計算	書	
		別表	3	比較	貸借	対照	表]
		別表	4	経営	指標	等の	推移	
水		道	事	業	会	計		
		1	決	算	報	告	書	1
		2	損	益	計	算	書	1
		3	貸	借	対	照	表]
		4	む	す	び]
		別表	1	予算	決算	対照	表]
		別表	2	比較	損益	計算	書	2
		別表	3	比較	貸借	対照	表	2
		別表	4	経営	指標	等の	推移	6
下		水	道	事	業	会	計	
		1	決	算	報	告	書	2
		2	損	益	計	算	書	2
		3	貸	借	対	照	表	2
		4	む	す	び			2

別表 1	予算決算対照表	2	9
別表 2	比較損益計算書	3	О
別表 3	比較貸借対照表	3	1
別表 4	経営指標等の推移	3	2

「注記」

- 1 本書において、文中に用いる金額は、原則として円単位で表示した。
- 2 比率(%)は、原則として小数点第2位を四捨五入し小数点第1位まで表示した。
- 3 構成比(%)は、合計が100となるよう一部調整している。
- 4 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - (0.0) は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。
 - (-) は、該当数値がないものである。
 - (△) は、減少又は不足を表示する。

令和 4 年度土岐市公営企業会計決算審查意見

1 審査の対象

令和 4 年度土岐市病院事業会計決算 令和 4 年度土岐市水道事業会計決算 令和 4 年度土岐市下水道事業会計決算

2 審査の期間

令和5年6月6日から令和5年8月3日まで

3 審査の方法

審査にあたっては、決算書、財務諸表及び附属書類並びに各企業で保管する関係諸帳簿等により総括的に審査するとともに、前年度決算との比較、例月現金出納検査の結果を参考に財務事務の適法性、決算計数の正確性、予算執行の適正かつ効率性等を主眼とし、関係職員の説明を聴取し、質問等を行い審査しました。

4 審査の結果

(1)決算について

審査に付された決算書、財務諸表等は、いずれも地方公営企業関係法令に準拠して作成され、経営成績及び財務状況が適正に表示されており、その決算計数は正確であることを認めました。

なお、土岐市病院事業会計における会計処理については、指摘事項のとおり、改善を要する事項が認められた。

(2) 指摘事項

市は、病院事業会計において、平成元年に市が税務署に届け出た 消費税簡易課税制度選択届出を把握しておらず、令和4年度消費税 確定申告において過少に計上していた。期限までに修正、納付した ものの、今後の会計事務の執行上不安を残す事象であった。

今後は会計制度への理解と届出状況の把握を徹底し、事務に遺漏のないよう注意されたい。

(3)審査の概要

概要については、次のとおりです。

病院事業会計

1 決算報告書(消費税込み)

当年度における予算及び決算の概要は、別表1に示すとおりである。

(1)収益的収入及び支出について

収益的収入の決算額は、760,698,427円で、予算現額963,277,000円に対し、79.0%の収入率で、202,578,573円の減となった。

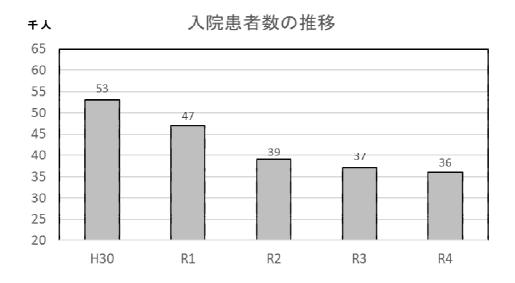
この決算額の内訳は、医業収益4,245,302円 (構成比0.6%)、医業外収益536,586,682円 (70.5%)、老人保健施設運営事業収益219,518,413円 (28.9%)、駄知診療所運営事業収益218,230円 (0.0%)である。

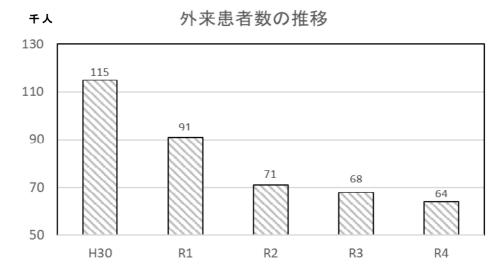
収益的支出の決算額は、917,973,090円で、予算現額1,182,773,000円に対し、77.6%の執行率で、264,799,910円が不用額となり、主な不用額は、医業費用249,777,639円である。

この決算額の内訳は、医業費用673,026,445円 (73.3%)、医業外費用24,372,785円 (2.7%)、老人保健施設運営事業費用219,701,435円 (23.9%)、訪問看護ステーション運営事業費用174,118円 (0.0%)、駄知診療所運営事業費用698,307円 (0.1%)である。

なお、業務実績については、次表のとおりであり、当年度の入院患者は1.3%、外来 患者は6.5%減少し、老健入所利用者も17.4%減少しているが、訪問看護ステーション 利用者数は、28.1%増加した。

区	分	令和3年度	令和4年度	前年度	比較
<u> </u>	<i>)</i>	17 11 0 1 /2	PHETTIX	増 減	比率 %
1. 病床数	(床)	350	350	0	0
2. 患者数					
(1) 入院患者数	(人)	36,660	36,179	△481	$\triangle 1.3$
(2) 外来患者数	(人)	68,826	64,379	$\triangle 4,477$	$\triangle 6.5$
3. 病床利用率	(%)	28.7	28.3	$\triangle 0.4$	_
4.老健定員	(人)	125	125	0	0
5. 老健入所利用者数	(人)	10,255	8,473	△1,782	\triangle 17.4
6. 老健入所利用率	(%)	34.2	26.5	$\triangle 7.7$	_
7. 訪看利用者数	(人)	3,547	4,544	997	28.1





(2)資本的収入及び支出について

資本的収入の決算額は、435,532,819円で、予算現額522,883,000円に対し、83.3%の収入率で、87,350,181円の減である。

この決算額の内訳は、出資金135,000,000円 (31.0%)、補助金145,451,410円 (33.4%)、企業債12,100,000円 (2.8%)、負担金142,431,409円 (32.7%)、長期貸付金返還金550,000円 (0.1%)である。

資本的支出の決算額は、434,982,819円で、予算現額527,883,000円に対し、82.4%の執行率で、92,900,181円が不用額である。

この決算額の内訳は、建設改良費12,100,000円 (2.8%)、企業債償還金422,882,819円 (97.2%)である。

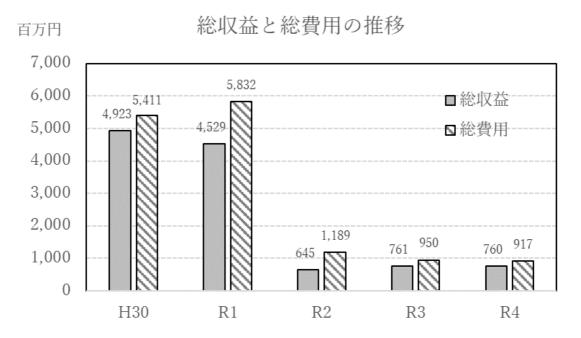
2 損益計算書(消費税抜き)

当年度における損益計算書の概要は、別表2に示すとおりである。

当年度の経営成績は、総収益760,242,139円に対し、総費用916,835,811円で、差引き156,593,672円の損失となった。

これを前年度と比較すると、総収益は1,059,149円(0.1%)の減収、総費用は33,341,439円(3.5%)の減少である。

この結果、当年度未処理欠損金は、7,033,958,364円(対前年度2.3%増)を計上することとなり、この欠損金の処理については、その全額を翌年度へ繰り越しすることとしている。



(1)収益について

医業収益は、3,880,892円で、総収益の0.5%を占め、前年度と比較して383,398円(9.0%)の減となっている。

医業外収益は、536,506,811円で、総収益の70.6%を占め、前年度と比較して31,522,909円(5.5%)の減となっている。この主な要因は、一般会計負担金が14,162,297円(3.9%)減額したことや、長期前受金戻入が前年度と比較して14,770,131円(7.6%)減額したこと等により、収益が減額したためである。

老人保健施設運営事業収益は、219,518,413円で、総収益の28.9%を占め、前年度と比較して30,565,734円(16.2%)の増となったが、その要因は、負担金及び交付金が26,142,069円(17.6%)増額したこと等によるものである。

駄知診療所運営事業収益は、218,023円で、総収益の0.0%を占め、前年度と比較して163,424円(299.3%)の増となった。

(2)費用について

医業費用は、672,117,166円で、総費用の73.3%を占め、前年度に比べ42,299,855円(5.9%)の減である。

これは、減価償却費が30,645,502円(8.7%)の減並びにその他医業費用の12,415,057円(3.5%)の減によるものである。

医業外費用は、24,144,785円で、総費用の2.6%を占め、前年度と比較して7,776,573円(24.4%)の減である。この主な要因は、支払利息・企業債取扱諸費が3,095,899円(20.4%)の減となったことや、雑支出が3,018,618円(69.6%)減額となったためである。

老人保健施設運営事業費用は、219,701,435円で、総費用の24.0%を占め、前年度と 比較して16,776,849円(8.3%)の増である。

訪問看護ステーション運営事業費用は、174,118円で、前年度と同額である。

駄知診療所運営事業費用は、698,307円で、総費用の0.1%を占め、前年度と比較して41,860円(5.7%)の減である。

3 貸借対照表

当年度における貸借対照表の概要は、別表3に示すとおりである。

(1) 資産について

当年度の資産総額は、4,780,260,264円で、この内訳は、固定資産4,324,887,162円 (90.5%)、流動資産455,373,102円 (9.5%)である。

前年度と比較すると371,872,069円(7.2%)の減で、固定資産が362,054,441円(7.7%)の減となったことと、流動資産が9,817,628円(2.1%)の減となったことによるものである。固定資産の減は、建物239,983,803円(6.6%)、器械及び備品110,343,893円(27.6%)の減価償却費の計上によるものである。

流動資産の減は、現金及び預金が9,661,230円 (2.3%) の増となった一方、その他流動資産が15,000,000円 (100.0%) 減額となったことが主な要因である。

なお、当年度の未収金は40,075,949円で、その内訳は、患者自己負担分の6,241,977 円及びその他33,833,972円である。

最近3か年の資産構成比率表

(単位:%)

区	分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定資産	構成比率	91.3	91.0	90.5
流動資産	構成比率	8. 7	9. 0	9. 5

固定資産構成比率は、総資産に対する固定資産の割合を示すもので、この比率が高くなると資本が固定化の傾向にあるといわれる。

流動資産構成比率は、資産総額を100とした場合の流動資産の割合を示すもので、 比率が高い方が流動性があるといわれる。

(2)負債について

当年度の負債総額は、2,020,165,311円で、前年度と比較して、350,278,397円の減である。

なお、当年度の未払金は、31,447,318円で、その内訳は、医業未払金31,219,318円、 その他未払金228,000円である。

(3)資本について

資本金は9,364,294,042円で、前年度に比較して135,000,000円(1.5%)の増である。 剰余金は \triangle 6,604,199,089円で、前年度に比較して156,593,672円(2.3%)の減である。 この結果、資本合計は2,760,094,953円となり、前年度と比較し21,593,672円(0.8%) の減である。

最近3か年の財務比率表

(単位:%)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和 4 年度
固定比率	1 4 8 . 6	1 3 5 . 6	1 2 3 . 5
流動比率	98.8	98.5	1 2 1 . 4
酸性試験比率	9 5 . 7	95.3	1 2 1 . 4

※固定比率:固定資産÷(資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益)×100

※流動比率:流動資産÷流動負債×100

※酸性試験比率: (現金預金 + 未収金 - 貸倒引当金)÷流動負債×100

固定比率は、自己資本(自己資本金+剰余金)に対して、固定資産の割合を示すもので、固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましいとされている。

流動比率は、流動負債に対する換金性の強い流動資産の割合を示すもので、一年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには流動資産が流動負債の2倍以上であることが望ましいので、理想比率は200%以上である。

酸性試験比率は、流動資産のうち現金、預金及び未収金などの当座資産の流動負債に対する割合を示すもので、100%以上が望ましい。

4 む す び

以上が、令和4年度土岐市病院事業会計決算書及び附属書類を審査した結果の概要である。

令和2年度から土岐市病院事業はJA岐阜厚生連が経営する指定管理者制度に移行し、病院の入院・外来収益等医業に係る収益や医業に係る費用が指定管理者の収益や費用になるなど、病院事業会計の収益構造は大きく変わった。

病院事業収益については、前年度の 7 億 6,130 万円程に対して、本年度は 7 億 6,024 万円程と横ばい傾向にあり、病院事業費用については、前年度の 9 億 5,018 万円程に対し、本年度は 9 億 1,684 万円程に減少した。

経常損失については、前年度が 1 億 8,888 万円程であったものが、本年度は 1 億 5,660 万円程であった。

(現在の病院事業は、指定管理者に対する指定管理料、指定管理先へ移籍した職員に対する医療資源確保事業、建物や医療機器を購入した際に借り入れた企業債の償還が主な事業である。それらの支出は一般会計繰入金や指定管理者負担金を財源としており、支出と収入はイコールで結びついている。そのうえで、企業会計の特徴である現金を伴わない支出や収益等を計上し、その結果、経常損失が計上されている。市自ら医療による収益や、それにかかる費用を計上することがないため、この状態が続くものと想定される。)

病院事業は、高度医療、特殊医療、救急医療など地域の基幹病院としての役割を担う「総合病院」、老人医療と福祉サービスを提供する老人保健施設「やすらぎ」、訪問看護ステーション「ときめき」、地域に密着した医療サービスを提供する「駄知診療所」で構成されており、その相互補完により、地域住民の健康管理と適切な医療や公共の福祉の安定的提供に努めている。

土岐市立総合病院では、令和4年度の入院・外来患者数を前年度と比較すると、入院患者数が481人1.3%減少し、外来患者数についても4,477人6.5%減少した。病床利用率は28.3%で0.4ポイント減少した。また、老人保健施設の入所利用率は26.5%で7.7ポイント減少した一方、訪問看護ステーションの利用者数は997人28.1%の増であった。

入院患者数及び外来患者数の減少要因は、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響であると考えられる。

令和3年6月1日に「東濃中部病院事務組合」が発足し、医師不足や人口減少に対応するため、新病院を建設し、土岐市立総合病院と東濃厚生病院の1病院化を進めている。今後もJA岐阜厚生連との連携を密にし、土岐市としても引き続き経営改善に努められたい。

別表1

令和4年度

病院事業予算決算対照表

孙	収益的収入							収益的支出						(単位:円	(% · E
1271	X Æ	子算現額	構成比	決算額	構成比	予算現額に 比べ決算額 の 増 減	予算現額に 対する決算 額 の 比 率	X X	子算現額	構成比	決 算 額	構成比	K	用額	予算現額に 対する決算 額 の 比 率
病院	病院事業収益	963, 277, 000	100.0	(456, 288) 760, 698, 427	100.0	△ 202, 578, 573	73 79.0	病院事業費用	1, 182, 773, 000	100.0	(909, 279) 917, 973, 090	100.0	26	264, 799, 910	77. 6
	医 業 収 益	4, 500, 000	0.5	(364, 410) 4, 245, 302	0.6	254, 698	94. 3		922, 804, 084	78.0	(909, 279) 673, 026, 445	73.3	22	249, 777, 639	72.9
	医業外収益	780, 969, 000	81. 1	(79, 871) 536, 586, 682	70.5	244, 382, 318	18 68.7	医業外費用	24, 373, 021	2.1	(0 0) 24, 372, 785	2.7		236	100.0
	老人保健施設運送事業収益	177, 695, 000	18.4	(0 0) 219, 518, 413	28.9	41, 823, 413	123.5	老 渾	219, 702, 895	18.6	(0 0)	23.9		1, 460	100.0
	默知診療所 運営事業収益		0.0	207)	0.0	105, 230		訪問	175,000		(0 0)	0.0		882	
	特別利益	0	0.0	(11,800) 129,800	0.0	129, 800	- 00	默知診療所 運営事業費用	5,	0.5	0 698, 307	0.1		5, 019, 693	12. 2
								予備費	10, 000, 000	0.8	0	0.0		10, 000, 000	0.0
8															
<u>`</u>)は、仮受	仮受消費税					-	※ () は、仮払タ	仮払消費税						
涇	本的权入							資本的支出						(単位:円	(% - [
IZA	N 公	子算現額	構成比	決算額	構成比	予算規額に比べ決算額の 増 瀬	予算現額に 対する決算 額 の 比 率	N A	予算現額	構成比	決算額	構成比	K	用額	予算現額に 対する決算 額 の 比 率
	資本的収入	522, 883, 000	100.0	(0) 435, 532, 819	100.0	△ 87, 350, 181	83.3	資本的支出	527, 883, 000	100.0)	100.0	0,	92, 900, 181	82. 4
	出資金	135, 000, 000	25.8	(0 0) 135, 000, 000	31.0		0 100.0	建設改良費	100, 000, 000	18.9	(1, 100, 000) 12, 100, 000	2.8	3	87, 900, 000	12.1
	補助金	145, 452, 000	27.8	(0) 145, 451, 410	33.4	△ 590	90 100.0	企業債償還金	422, 883, 000	80. 1	(0 0 1 422, 882, 819 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	97.2		181	100.0
	企 業 債	100, 000, 000	19.1	(0 0) 12, 100, 000	2.8	△ 87, 900, 000	12.1	子備費	5,000,000	1.0	0 (0)	0.0		5, 000, 000	0.0
	負 担 金	142, 431, 000	27.3	(0) 142, 431, 409	32.7	409	100.0								
	長期貸付金 返 還 金	0	0.0	(0) 550,000	0.1	550, 000	- 01								
<u>~</u> **)は、仮受消費税	消費税						※ () は、仮払ぎ	仮払消費税						

別表2

令和4年度 令和3年度

病院事業比較損益計算書

	开	三 中 対 比 科	91.0	91.0	94. 5	0.0		96. 1	92. 4	0.0	88.9	116.2		399. 3	0.0	0.0		99. 9	82.9	96. 5
	#		398	398	606	411		297	131	880	190				000	000		149	290	439
: H·%)		増減	383, 398	383, 398	31, 522,	55,		14, 162, 297	14, 770, 131	1, 321, 880	1, 213, 190	30, 565,		163, 424	118,000	118,000		1,059,149	32, 282,	33 341 439
(単位		光																		
拉	<u>-</u>	出	0.6	0.6	1.6	0.0	0.0	7.5	5	2	4.1	∞	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	\triangleleft	<
	中	+			720 74.	411 (0	548 47.	317 25.	088	564	679 24.	0) 669	0	0	0	288 100.0	962	250
ϵ	今むった事	金布の発	4, 264, 290	4, 264, 290	568, 029, 7	55,		361, 579, 548	194, 158,	1, 321, 8	10, 914,	188, 952, 0		54, 8				761, 301, 288	188, 875, 9	950, 177, 250
*		構成比	0.5	0.5	70.6	0.0	0.0	45.7	23. 6	0.0	1.3	28.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
Щ	人和 7 年中	44 十人	3, 880, 892	3, 880, 892	536, 506, 811	0	0	347, 417, 251	179, 388, 186	0	701, 374	518, 413	0	218, 023	118,000	118,000	0	760, 242, 139	593, 672	916. 835. 811
	4	倒		3,8	536, 5			347, 4	179,3		9,7	219, 5		2	1	1		760, 2	156, 5	916.8
		(R XI /) 校 故		型 型 副 倒		及び金	金属人	金原人	- 会 名相		う相	绀			描 放 放	1111111	失	111111111111111111111111111111111111111
		 	排	そ 医 業	医業外収益	受取を及び配	<u> </u>	負担 放金	長期前受金戻入	貸倒引当金戻入	みるの業を対	老人保健施設 運営事業収益	訪問看護 <i>ホ</i> ッシ 運営事業収益	默知診療所 運営事業収益	特別利益	固定資売却		<u> </u>	当年度純損失	4
F	- 世世	三 中 及 対 兄 将 兄 将 兄 将	94. 1	102.9	91.3	0.0	115.5	96. 5	75.6	79.6	86.6	4	108.3	100.0	94.3			96. 5		96. 5
	41	減量水	855	815	502	000	7,889	057	776, 573	668	056	618	849	0	41,860			439		439
		数 墙 🧎	42, 299, 855	277,815	30, 645,	475,000	7,	12, 415, 057	7, 776,	3, 095,		3, 018,	16, 776, 849		41,			33, 341, 439		33, 341, 439
		出	◁		\triangleleft			◁	◁	◁	◁	◁			◁			\triangleleft		<
~	-	構成比	75.2	1.0	37.0	0.0	0.0	37.2	3.3	1.6	1.3	0.4	21.4	0.0	0.1	0.0	0.0	100.0		
拉	くなった事	箱	714, 417, 021	9, 600, 969	535, 338	0	50,770	353, 229, 944	31, 921, 358	94, 966	389, 820	4, 336, 572	202, 924, 586	174, 118	740, 167	0	0	950, 177, 250		950, 177, 250
6	3	(A)	714, 4	9,6	351, 5			353, 2	31,9	15, 194,	12,3	4,3	202, 9	1	7			950, 1		950, 1
H		構成比	73.3	1.1	35.0	0.0	0.0	37.2	2.6	1.3	1.2	0.1	24.0	0.0	0.1	0.0	0.0	100.0		
争	月 4年 4年 1年 1年 1日	114 十人人 額 1	672, 117, 166	9, 878, 784	320, 889, 836	475,000	58,659	340, 814, 887	24, 144, 785	099, 067	10, 727, 764	1, 317, 954	219, 701, 435	174, 118	698, 307	0	0	916, 835, 811		916, 835, 811
	4	供	672, 1	9,8%	320,88	4′,		340, 8	24, 1	12,06	10, 75	1, 3.	219, 70	1,) 9			916, 8		916, 85
		(R X1 /		華	古 黄	耗費	参	- 第 第 田		に払利息・企 賃取扱諸費	当世世世		松田	> ₃ > 景用	田田		だ 損 益 ご 損	11111111	겎	-1- 1111111
		/_	医業費用	経	減 価 償	資産減	研究研	※	医業外費用	支払利, 業債取担	長期消費機		老人保健施設 運営事業費用	訪問看護ステーション 運営事業費用	駄知診療所 運営事業費用	特別損失	過年度 修 正	<u></u>	当年度純利益	<□
L		/ (दे	困業	×162	*	, A-41	7	1 1-1	承継	!!\ 清 朴	-47	**	老運	訓運	默 運	特別			当年	

令和4年度 令和3年度

病院事業比較貸借対照表

前年度 対比率 0.0 110. 123. 72. 79. 81. 91. $\dot{\circ}$ 141. 85. 101. 102. 100. 102. 92. 73. 101. 99. 単位: 円·%) 532 819 000 672 672 000 97, 144, 917 287 052 767 397 000 672 371, 872, 069 減 518, 000, 859, 15,000, 593, 000, 497, 497. 285. 364, 882, 278, 000 593, 593, 垩 331, 287, 321, 135, 10, 79, 350, 135, 156, 56, 68, 21 榖 丑 \triangleleft \triangleleft 郶 100.0 構成比 3 23.3 0.0 8 8 2 2 0.0 6 6 125. 0 0 0 46. 179. 179. 23. 23. ∞ ∞ 13. 53. 6 333 845 819 600 913 042 224, 044, 845 948 960 708 042 6, 447, 605, 417 275 692 000 625 # 蹈 令和3⁴ 306, 15,000, 209, .896 1, 224, 044, 882. 443, 9, 229, 294, 294. 5, 152, 132, 1, 202, 178, 759, 688, 472, 189. 877, 364. H 34, 674, 370, 229. 429, 422. 527. 781 金 6 ς, ઇ 6 鶭 \triangleleft 構成比 18.7 0.2 7.8 7.2 0.6 0.0 31.2 0.0 138.1 0.0 100.0 \triangle 15.6 147.1 195. 18. 6 15. 42. 195. 57. 嶣 264 令和4年度 680 547, 313 828 487,680 042 547,313 000 532 364, 294, 042 275 364 850 447, 318 953 311 165, 294. 958. 000, 375, 044, 573, 4, 780, 260, 604, 199, 597. 490,060, 759, 094, 負 742, 020, 902, 892. 364. 033, 10, 343. 429, 760, 31, 金 ς, 6 2, 金他債 長期前受金 収益化累計額 自己資本金 金 御他間 重 湖 利益剰余金 借入資本金 資本剰余金 尔 盂 11111111 \times 1 le ^街l ₩ 6 以 獙 貅 팿 固定負債 流動負債 資本金 剰余金 Ш 臼 심 # 湖 K を固 そ流 **÷** 食 ⟨¤ 蠍 負債の部 資本の部 92.8 前年度 対比率 97. 85. <u>.</u> 76. 100. 93. 100. 86. 80. 92. 93. 72. 48. 97. 102. 976 272 740 226 690 230 803 000 757 000 441 893 減 9,817, 054, 983, 264, 661, 6, 335, 1,856, 110, 343, 000 371,872, 430, 124, 严 9, 15, 10, 239, 362, 揿 丑 \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft < \triangleleft \triangleleft 100.0 0.3 0.0 0.9 7.8 0.0 0.2 0.4 9.0 8.0 0.2 郶 91.0 0.0 33 構成比 2 0.0 0 <u>.</u> 0 12. 70. 年度 333 375 020 293 479 563 708 603 487 000 575 000 蹈 **令和3**4 216, 544. 254, 749, 500, 1,829, 829, 530, 5, 152, 132, 6 4,686,941, 14,638, 399, 348, 165, 190, 279. 411, 000 413, 620, 3,614, 46, 6 15, ∞ 19, 金 100.0 70.6 0.3 6.0 0.0 0.2 0.2 9.5 8.9 0.8 0.2 5 0.0 0.0 0.0 構成比 0.0 涶 90. ö 652 264 162 763 490 935 635 805 949 586 000 51 291 95 額 40,075, 544, 232, 004. , 399, 7, 254, 704, 940, 7,643, 4, 780, 260, 324,887, 980, 484, 155, 373, 14, 281, 資 묲 422, 620, 289. 6 374 倒 型 **A** 物及品 期貸付金 及金 金世産 欠 囯 建設仮勘定 拉群 資有資 汌 |X|温 産金預 <u>し</u>の と を 変 雞 液 征 払の 以 揻 曹 Ę 重 雇 海 倒 固定資産 動現び 構器が * 盐 前を流 Ш + ປ # 長長消 2 そ固 ďП 食

別表3

別表 4

病院事業の最近5事業年度に係る主要な経営指標等の推移

			淅	病院事業の歳近5 事業 	事業牛度に徐る王要な経宮指標等の雅移	栓宮指標等の雅移		(単位:千円)
	区 会	(世)	赵	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	<u>承</u>	業	俎	4,091,202	3, 586, 842	3,961	4, 264	3,881
凝	承	業利	抖	$\triangle 625, 459$	△ 830, 295	△ 806,965	\triangle 710, 153	\triangle 668, 236
<u>[</u> ш 4	経	常利	俎	$\triangle 488, 577$	△ 592, 980	\triangle 539, 475	\triangle 188, 876	\triangle 156, 712
艾 🌣	争	度純		△488, 577	\triangle 1, 302, 968	\triangle 543, 884	\triangle 188, 876	\triangle 156, 594
<u> </u>	収 益 的 収 一 般 会 計 当 年	X 入 に 計 上 繰 入 金 を 除 度 純 利	しい たた結	\triangle 1, 163, 388	\triangle 2, 136, 991	\triangle 1, 101, 722	\triangle 699, 402	\triangle 679, 099
		産	11111111	7, 190, 188	7, 235, 817	5, 584, 481	5, 152, 132	4, 780, 260
	П	資本	⑷	8, 729, 572	8, 959, 294	9, 094, 294	9, 229, 294	9, 364, 294
阻	剰余金	[밑 뤽 구	資本	4, 312, 655	3, 239, 409	2, 835, 564	2, 781, 689	2, 760, 095
应	自合	本構成」	水	%0 .09	44.8%	50.8%	54.0%	57.7%
共	大 耄	久 損	名頁	3, 118	6, 090	2, 131	2,284	1,856
況	台業	債 現 在	恒	2, 143, 668	2, 622, 803	2, 091, 246	1, 646, 928	1, 236, 145
	金業	債利	追	37, 776	33, 135	30, 479	25, 609	21, 130
	累積	久 損	金	4,841,637	6, 144, 605	6, 688, 489	6, 877, 365	7, 033, 958
И	建設改	良費(税込	(42	157, 205	238, 059	6,870	0	12, 100
の角	以 公 公 会 会 会	入と資本的収 計 繰 入	イン の金 (金)	904, 454	1, 063, 745	900, 717	801,695	802, 957
	職		教	271名	244名	0名	0名	0名

水道事業会計

1 決算報告書(消費税込み)

当年度における予算及び決算の概要は、別表1に示すとおりである。

(1)収益的収入及び支出について

収益的収入の決算額は、1,913,532,695円で予算現額1,860,572,000円に対し、102.8%の収入率で52,960,695円の増である。

この決算額の内訳は、営業収益1,611,518,097円 《構成比84.2%》、営業外収益300,614,353円 《15.7%》及び特別利益1,400,245円である。

収益的支出の決算額は、1,668,866,448円で予算現額1,783,440,000円に対し、93.6%の執行率で114,573,552円が不用額となり、その主なものは営業費用であった。

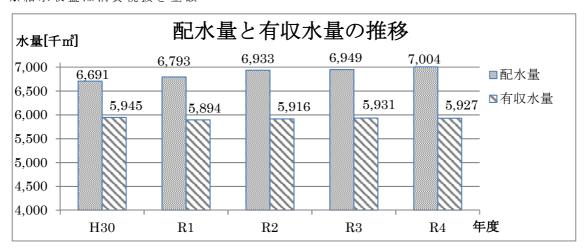
この決算額の内訳は、営業費用1,612,827,823円 (96.6%)、営業外費用56,015,532円 (3.4%)及び特別損失23,093円である。

なお、業務実績は、次表に示すとおりであり、当年度の年間有収水量は前年度と 比較してわずかに減少(0.1%)したが、年間配水量は増(0.8%)となった。

この結果、給水収益は前年度と比較し0.6%増加している。

区	分	令和4年度	令和3年度	前 年 度	比 較
<u> </u>	<i>)</i> ,	13 141 1 1/2	P THO T IX	増減	比率%
1. 年度末給	水人口(人)	55,403	56,063	△ 660	△1.2
2. 年度末給	水件数(件)	23,418	23,321	97	0.4
3. 年間配	水 量 (m³)	7,004,211	6,948,370	55,841	0.8
4. 年間有山	又水量(m³)	5,927,100	5,930,961	△3,861	\triangle 0.1
5. 有 収	率 (%)	84.6	85.4	\triangle 0.8	_
6. 給水収	益 (千円)	1,437,325	1,428,235	9,090	0.6

※給水収益は消費税抜き金額



(2)資本的収入及び支出について

資本的収入の決算額は、251,649,726円で予算現額466,528,000円に対し、53.9%の収入率で214,878,274円の減である。

決算額の内訳は、企業債86,200,000円 《34.3%》、出資金7,023,826円 《2.8%》、他会計負担金21,715,386円 《8.6%》、分担金47,085,500円 《18.7%》、補助金89,625,014円 《35.6%》である。

資本的支出の決算額は、893,993,960円で予算現額1,002,976,800円に対し、89.1% の執行率で、翌年度繰越額105,457,000円、不用額3,525,840円となった。

決算額の内訳は、建設改良費562,365,110円 《62.9%》及び企業債償還金331,628,850円 《37.1%》である。

収支不足額642,344,234円を、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額38,804,537円、過年度分損益勘定留保資金262,718,555円及び当年度分損益勘定留保資金268,821,142円で補てんしており、なお不足する72,000,000円については、令和4年度同意済企業債の未発行分をもって翌年度において措置することとしている。

なお、主な工事の概況は、次表のとおりである。

区分	件数	金額
改良工事	16件	5 3 5 , 1 4 4 , 7 8 6 円
翌年度への繰越工事	2 件	90,640,000円
合 計	18件	625,784,786円

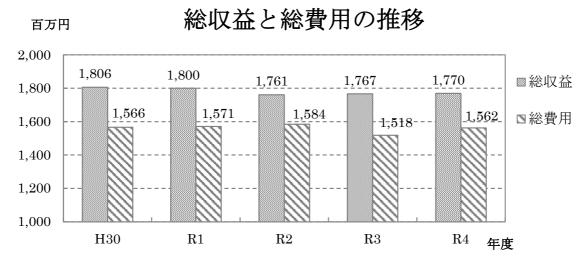
※ 金額は消費税込み

2 損益計算書(消費税抜き)

当年度における損益計算書の概要は、別表2に示すとおりである。

当年度の経営成績は、総収益1,770,478,712円に対し、総費用は1,562,456,061円で 差引き208,022,651円の純利益となった。

この結果を前年度と比較すると、総収益は3,167,663円(0.2%)の増、総費用は44,060,425円(2.9%)の増、純利益は40,892,762円(16.4%)の減額となった。



(1) 収益について

営業収益は、1,465,861,592円で総収益の82.8%を占め、前年度と比較して9,858,742円(0.7%)の増であった。これは、給水収益が、9,089,985円(0.6%)の増となったことによるものである。

営業外収益は、303,344,170円で総収益の17.1%を占め、前年度と比較して7,943,029円(2.6%)の減となった。主な要因としては、長期前受金戻入4,468,471円(1.8%)及び他会計補助金が4,056,287円(7.9%)の減となったためである。

なお、特別利益は1,272,950円であった。

(2)費用について

営業費用は、1,525,404,917円で総費用の97.6%を占め、前年度と比較して53,108,110円(3.6%)の増となった。

この主な要因は、配水及び給水費が28,858,429円(16.6%)、資産減耗費が7,956,206円(174.4%)、総係費が7,332,459円(8.1%)増となったためである。

営業外費用は、37,030,148円で総費用の2.4%を占め、前年度と比較して8,747,716円(19.1%)の減となった。主な要因は、支払利息及び企業債取扱諸費8,614,386円(19.4%)の減によるものである。

特別損失は20,996円で、前年度と比較して299,969円(93.5%)の減となった。

最 近 3 か 年 の 収 益 率 表

(単位:%)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総収益 対 総費用比率	1 1 1 . 1	1 1 6 . 4	1 1 3 . 3
営業収益対営業費用比率	94.1	98.9	96.1

総収益対総費用比率は、総収益と総費用を対比した相対的な関連を示すもので、 前年度と比較すると3.1ポイント下回った。

当年度は、100円の費用に対し113.3円の収入を得たことになる。

営業収益対営業費用比率は、業務活動の能率を示すもので、これにより営業活動の成否が判断されるものである。前年度と比較すると2.8ポイント下回り96.1%となった。

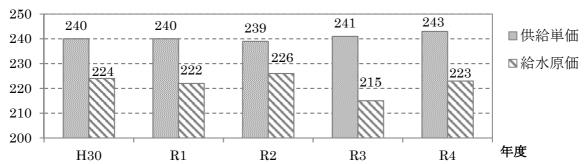
最近3か年の供給単価及び給水原価表

(単位:円・%)

区			,	分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前 年	度 比 較
			,	/3	1741 2 1 1/2	17 TH 0 1 1/2	17 TH 1 1 1/2	増 減	比 率 %
A	供	給	単	価	239.4	240.8	242.5	1.7	100.7%
В	給	水	原	価	225.8	215.0	223.4	8.4	103.9%
差	引	(<i>F</i>	4 – I	3)	13.6	25.8	19.1		

また、当年度の供給単価は 1 ㎡当たり 242円 50銭、給水原価 223円 38銭で、供給単価が給水原価を上回ることとなった。給水収益だけで収支を換算すると、有収水量 1 ㎡ 当たり約 19円の黒字になる。





なお、分析率の算式は次のとおりである。

供給単価 (1m³当たり) 円=給水収益÷年間総有収水量

給水原価(1m³当たり)円={経常費用-(受託工事費+材料費+付帯事業費 +長期前受金戻入)}÷年間総有収水量

3 貸借対照表

当年度における貸借対照表の概要は、別表3に示すとおりである。

(1) 資産について

当年度の資産総額は、13,862,031,305円で、その内訳は、固定資産13,022,703,391円 (93.9%)と流動資産839,327,914円 (6.1%)である。

固定資産では、建物66,060,852円、機械及び装置50,747,586円などの減、構築物96,927,119円などの増による差引により前年度と比較して47,362,067円の減となった。

また、流動資産では、前払金が18,940,000円の減となった一方、現金預金が25,039,193円、未収金が15,686,111円の増となったことを主な要因として16,958,104円の増となった。

この結果、資産総額は前年度に比較して30,403,963円(0.2%)の減となった。

最近3か年の資産構成比率表

(単位:%)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定資産構成比率	9 2. 2	94.1	93.9
流動資産構成比率	7.8	5. 9	6. 1

固定資産構成比率は、資産合計に対する固定資産の割合を示すもので、一般にこの比率は低い方が柔軟な経営が可能となるが、水道事業は施設型の企業であるため高くならざるを得ない。

流動資産構成比率は、資産総額を100とした場合の流動資産の割合を示すもので、 比率が高いほどよい。両方の比率の合計は100%となり、これを前年度と比較すると 固定資産構成比率で0.2ポイント下回り93.9%、流動資産構成比率で0.2ポイント上回 り6.1%となった。

(2)負債について

負債総額は、6,207,855,953円で、この内訳は、固定負債1,107,946,500円で前年と比較して218,684,075円の減、流動負債524,447,934円で前年と比較して62,894,996円の増、繰延収益4,575,461,519円で、前年と比較して89,661,361円の減で、負債総額は245,450,440円の減となった。

(3)資本について

資本合計額は、7,654,175,352円で前年度に比較して、215,046,477円(2.9%)の増となった。

資本金は、6,353,406,867円で前年度に比較して7,023,826円(0.1%)の増となった。 剰余金は、1,300,768,485円で前年度に比較して208,022,651円(19.0%)の増となった。 これは、利益剰余金の増によるものである。

最近3か年の財務比率表

(単位:%)

⊠	,	5	}	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固	定	比	率	1 1 0 . 1	1 0 8. 0	1 0 6. 5
流	動	比	率	1 6 9 . 2	1 7 8. 2	1 6 0 . 0
当	座	比	率	1 6 5 . 7	1 7 1. 0	1 5 8 . 2

※固定比率:固定資産÷(資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益)×100

※流動比率:流動資産÷流動負債×100

※当座比率:(現金預金+未収金-貸倒引当金)÷流動負債×100

固定比率は、自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを見る指標であり、 100%以下が望ましいとされているが、水道事業の場合は建設投資のための財源とし て企業債に依存する度合いが高いため、必然的にこの比率が高くなる。

流動比率は、流動負債に対する換金性の強い流動資産の割合を示すもので、企業の信用度を判断する短期債務に対する支払能力を表わしており、200%以上が望ましく、100%を下回っていると不良債務が発生していることになる。

当座比率は、流動資産のうち現金預金及び未収金などの当座資産と、短期債務の流動負債との割合を示すもので、事業体の支払能力を厳密に測る指標であり100%以上が望ましい。

4 む す び

以上が、令和4年度土岐市水道事業会計決算書及び附属書類を審査した結果の概要である。

水道事業は、市民生活に欠かすことのできない水道水の安定供給を目的に整備を進め、平成14年度に市内全域への給水が完了した。現在は、「信頼される水道でありつづけるために」を基本理念とした土岐市水道事業経営戦略を基に事業運営を進めている。

そのなかで施設改良工事等においては、老朽化した管路の耐震管への更新などを計画的に進め、「安定供給と強靭性の確保」の実現に努めている。

本年度の業務状況から決算を見ると、年度末現在の対前年度比較で、給水件数が23,418件と97件(0.4%)増加したが、給水人口は55,403人と660人(1.2%)減少した。給水人口が減少する一方で、令和4年秋に開業した大型商業施設等の新規の大口径の利用者による影響もあり、総配水量は7,004,211㎡と前年度比0.8%増、有収水量は5,927,100㎡と同0.1%減という状況を保っている。純利益は208,022,651円となり、平成14年度以降黒字決算を維持している。

今後の水需要の見込みは、大型商業施設等による安定的な配水量、有収水量が見込まれるものの、人口減少や節水意識の向上などにより、大幅な伸びは期待できないことが予想される。

全国的な水道事業の課題ではあるが、多くの老朽化した施設や管路等が更新時期を迎えることなど、今後、更新に伴う費用の大幅な増加が見込まれる。また、類似団体と比較して、本市の有収率等の指標値がやや低いことなどの収益への影響が懸念される。本市の起伏のある地形や居住地域の広さによるものであるなど、やむを得ない部分はあるが、将来にわたり健全な経営を堅持するためにも、有収率の回復、施設規模の適正化(ダウンサイジング)を前提とした効率的な投資等更なる経営努力が求められている。このような厳しい経営環境に着実に対応していくために、的確な現状把握や分析を行ったうえで策定した土岐市水道事業経営戦略をもとに水道事業者の役割として安価で安全、良質な水の安定供給を継続されたい。

麦 別

麦 密 衣 輝 氷 輝 严 貅 빠 澐 长

令和4年度

							くこまく	E					・ 五十)	(% • E
X A	予算現額	構成比	決 算 額	構成比	予算現額に 比べ決算額 の 増 減	予算現額に 対する決算 額の比率	区分	予算現額	構成比	決算額	構成比	繰越額	不用額	予算現額に 対する決算 額の比率
水道事業収益	1, 860, 572, 000	100.0	(145, 834, 694) 1, 913, 532, 695	100.0	52, 960, 695	95 102.8	水道事業費用	1, 783, 440, 000	100.0	(87, 425, 003) 1, 668, 866, 448	100.0	0	114, 573, 552	2 93.6
道 業 反 益	1, 563, 372, 000	84. 0	(145, 656, 505) 1, 611, 518, 097	84.2	48, 146, 097	97 103.1	営業費用	1, 722, 424, 468	96.6	(87, 422, 906) 1, 612, 827, 823	96.6	0	109, 596, 645	5 93.6
案外 収	297, 190, 000	16.0	(50, 894) 300, 614, 353	15.7	3, 424, 353	53 101. 2		56, 015, 532	3.1	(0 0) 56, 015, 532	3. 4	0		0 100.0
特別利益	10, 000	0.0	(127, 295) 1, 400, 245	0.1	1, 390, 245	45 14002.5	特別損失	1, 000, 000	0.1	(2, 097) 23, 093	0.0	0	976, 907	7 2.3
							子 備 費	4, 000, 000	0.2	0 0	0.0	0	4, 000, 000	0.0
※ () は、内()は、内仮受消費税						※ () は、内)は、内仮払消費税						
2							孩 * * *	Ŧ					(無份・	(% •
					予算現籍に	予算現額に	î E	H						*
⟨₹	予算現額	構成比	決 算 額	構成比	比べ決算額の増減	対する決算額の比率	⟨₹	子算現額	構成比	決 算 額 (昨年度繰越額含む)	構成比	繰越額	不用額	対する決算額の比率
資本的収入	466, 528, 000	100.0	(4, 280, 500) 251, 649, 726	100.0	V	74 53.9	資本的支出	1,002,976,800	100.0	(49, 807, 652) 893, 993, 960	100.0	105, 457, 000	3, 525, 840	0 89.1
企業	297, 000, 000	63.7	86, 200, 000	34.3	△ 210, 800, 000	00 29.0	建設改良費	671, 346, 800	66.9	(49, 807, 652) 562, 365, 110	62. 9	105, 457, 000	3, 524, 690	0 83.8
出資金	7, 024, 000	1.5	7, 023, 826	2.8	abla	174 100.0	企 業 債償 選 盘	331, 630, 000	33. 1	331, 628, 850	37. 1	0	1, 150	0 100.0
金田谷田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	23, 482, 000	5.0	21, 715, 386	9.8	△ 1, 766, 614	14 92.5								
分担金	41, 470, 000	8.9	(4, 280, 500) 47, 085, 500	18.7	5, 615, 5	500 113.5								
工事負担金	4, 000, 000	0.9	(0)		4,000,000	0.0								
固定資産売却代金	0		0			0								
補助金	88, 327, 000	18.9	89, 625, 014	35.6	1, 298, 014	14 101.5								

※()は、内仮受消費税 ※補填財源は、当年度分消費稅及び地方消費稅資本的収支調整額38,804,537円、過年度分損益勘定 ※「不用額」欄の金額は、翌年度繰越額を含む。 留保資金262,718,555円、当年度分損益勘定留保資金268,821,142円、令和4年度同意済企業債未発行分72,000,000円

0.0

000

225,

5

5, 225, 000

長期前受金

別表 2

令和4年度

水道事業比較損益計算書

令和3年度

(%)		前年度	対比率	100.7	100.6	I		102.8	97. 4	98. 2	100.0	84.3	92. 1	112.1	6061.7		I		I		6061.7	I	100.2		100.2
(単位: 円・%)		当	四	9, 858, 742	9, 089, 985			768, 757	7,943,029	4, 468, 471	0	173, 180	4,056,287	754, 909	1, 251, 950						1, 251, 950		3, 167, 663		3, 167, 663
		1		2. 4	80.8	0.0		1.6	17.6	3.7	0.5	0.1	2.9	0.4	0.0						0.0		100.0		
	भ	東	構成比	50 82.		0)6 13.							0		0			0	049 100		61
	0)	令和3年	金額	1, 456, 002, 850	1, 428, 235, 417			27, 767, 433	311, 287, 199	242, 896, 906	9, 514, 730	1, 104, 386	51, 509, 752	6, 261, 425	21,000						21,000		1, 767, 311, 0		1, 767, 311, 049
	뵊	**	構成比	82.8	81.2	0.0		1.6	17.1	13.5	0.5	0.0	2.7	0.4	0.1						0.1		100.0		
	对	令和4年度	金額	1, 465, 861, 592	1, 437, 325, 402	0		28, 536, 190	303, 344, 170	238, 428, 435	9, 514, 730	931, 206	47, 453, 465	7,016,334	1, 272, 950		0		0		1, 272, 950	0	1,770,478,712		1, 770, 478, 712
		X X	科目	営業収益	然 水 切 챆	受託工事収益	から	当 業 石 群	営業外収益	長期前受金戻入	受取利息及び配当金	他会計負担金	他会計補助金	維収益	特別利益	固定資産	売 哲 群	過年度損益	修 正 益	その角の	特別利益	長期前受金戻入	十二小	当年度純損失	台
		前年度	対比率	103.6	101.1	116.6	I	108.1	100.3	274. 4	Ι	80.9		80.6	89. 7	6.5	1		19.2	1	I	0.0	102.9	83.6	100.2
		工工	軟	53, 108, 110	7, 192, 505	28, 858, 429		7, 332, 459	1, 768, 511	7, 956, 206		8, 747, 716		8, 614, 386	133, 330	299, 969			88, 462			211, 507	44, 060, 425	40, 892, 762	3, 167, 663
				97.0	43. 1	11. 4	0.0	6.0	36. 2	0.3	0.0	3.0		2.9	0.1	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	⊲	
	部	再	構成比				0				0						0			0	0		.36 100.	13	49
	0)	令和3年度	金 額	1, 472, 296, 807	653, 539, 207	173, 350, 365		91,067,751	549, 776, 250	4, 563, 234		45, 777, 864		44, 489, 464	1, 288, 400	320, 965			109, 458			211, 507	1, 518, 395, 636	248, 915, 413	1, 767, 311, 049
	田		構成比	97.6	42.3	12.9	0.0	6.3	35.3	0.8	0.0	2. 4		2.3	0.1	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
	重	令和4年度	金額	1, 525, 404, 917	660, 731, 712	202, 208, 794	0	98, 400, 210	551, 544, 761	12, 519, 440	0	37, 030, 148		35, 875, 078	1, 155, 070	20, 996	0		20, 996	0	0	0	1, 562, 456, 061	208, 022, 651	1,770,478,712
		K M	科目	営業費用	原水及び浄水費	配水及び給水費	受託工事費	総係機	減価償却費	資産減耗費	その他営業費用	営業外費用	支払利息及び	企業債取扱諸費	維	特別損失	固定資産売却損	過年度損益	修 正 損	減 損 損 失	臨時損失	その他特別損失	₩.	当年度純利益	₩

ಣ 別表

令和4年度

令和3年度

麦

密 較貸借対 水道事業比

(%.		前年度	対比操	83. 5	83. 5		113.6	91.9	176. 3	95. 2	101. 6	98. 1	98. 1	0.0	96. 2	100.1	100.1	I	119.0	100.0	122.0	102.9	99.8
(単位: 四十)		年	Щ	218, 684, 075	218, 684, 075		62, 894, 996	26, 744, 775	89, 869, 310	317,000	87, 461	89, 661, 361	89, 661, 361		245, 450, 440	7, 023, 826	7, 023, 826	_	208, 022, 651	0	208, 022, 651	215, 046, 477	30, 403, 963
		主	3	⊲	\triangleleft			⊲		\triangleleft		\triangleleft	\triangleleft		\triangleleft								\triangleleft
	郌		構成比	9.6	9.6	0.0	3. 2	2. 4	0.8	0.0	0.0	33. 6	33. 6	0.0	46. 4	45.7	45.7	0.0	7.9	1.1	6.8	53.6	100.0
	資本の	令和3年度	金額	1, 326, 630, 575	1, 326, 630, 575	0	461, 552, 938	331, 628, 850	117, 760, 890	6, 609, 000	5, 554, 198	4, 665, 122, 880	4, 665, 122, 880	0	6, 453, 306, 393	6, 346, 383, 041	6, 346, 383, 041	0	1, 092, 745, 834	146, 167, 246	946, 578, 588	7, 439, 128, 875	13, 892, 435, 268
	(人)		構成比	8.0	8.0	0.0	3.8	2.2	1.5	0.1	0.0	33.0	33.0	0.0	44.8	45.8	45.8	0.0	9. 4	1.1	8.3	55.2	100.0
	負	令和4年度	金額	1, 107, 946, 500	1, 107, 946, 500	0	524, 447, 934	304, 884, 075	207, 630, 200	6, 292, 000	5, 641, 659	4, 575, 461, 519	4, 575, 461, 519	0	6, 207, 855, 953	6, 353, 406, 867	6, 353, 406, 867	0	1, 300, 768, 485	146, 167, 246	1, 154, 601, 239	7, 654, 175, 352	13, 862, 031, 305
		∀ ⊠	中	固定負債	企 業 債	その他固定負債	流動負債	企業債	未払金	引 当 金	その他流動負債	繰延収益	長期前受	建 設 仮 勘 定 長 期 前 受 金	小計	資本金	自己資本金	借入資本金	剩余金	資本剰余金	利益剰余金	小計	台
F		/			1	1		1	負債		I	1	1	I		I	I		<u> </u>				
		前年度	対比率	99.6	97.0	95.8	101.0	89.7	73.2	87.6	74.5	94.6	100.0	100.0	100.0	102.1	104.3	107.5	I	31.6	133.5		99.8
		2 年 4	<u> </u>	47, 362, 067	6, 551, 343	66, 060, 852	96, 927, 119	50, 747, 586	1,048,190	2, 453, 205	14, 155, 987	3, 321, 699	49, 676	0	0	16, 958, 104	25, 039, 193	15, 686, 111		18, 940, 000	172,800	5, 000, 000	30, 403, 963
		立	3	⊲	\triangleleft	⊲		⊲	⊲	⊲	◁	⊲								⊲		\triangleleft	\triangleleft
			構成比	94.1	1.6	11.3	72.4	3.5	0.0	0.2	0.4	0.4	4.3	0.0	0.0	5.9	4.2	1.5	0.0	0.2	0.0	0.0	100.0
	の部	令和3年度	金額	13, 070, 065, 458	215, 704, 048	1, 566, 126, 448	10, 056, 121, 488	491, 112, 415	3, 917, 051	19, 745, 507	55, 567, 493	61, 144, 209	599, 512, 319	1, 089, 890	24, 590	822, 369, 810	580, 554, 554	208, 609, 046	0	27, 690, 000	516, 210	5, 000, 000	13, 892, 435, 268
	産		構成比	93. 9	1.5	10.8	73. 3	3. 2	0.0	0.1	0.3	0. 4	4. 3	0.0	0.0	6. 1	4. 4	1.6	0.0	0.1	0.0	0.0	00.00
	資	令和4年度	金額	13, 022, 703, 391	209, 152, 705	1, 500, 065, 596	10, 153, 048, 607	440, 364, 829	2, 868, 861	17, 292, 302	41, 411, 506	57, 822, 510	599, 561, 995	1, 089, 890	24, 590	839, 327, 914	605, 593, 747	224, 295, 157	0	8, 750, 000	689, 010	0	13, 862, 031, 305 100. 0
		(大 区)		固定資産	出	建	構築物	機械及び装置	車両運搬具	工具器具及び備品	建設仮勘定	形固定資産	投資有価証券	出資金	の他投資	流動資産	現金預金	未収金	有価証券	前払金	貯 蔵 品	の他流動資産	4

別表 4

水道事業の最近5事業年度に係る主要な経営指標等の推移

									(単位:千円)
农			サ	英	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	業	М	7	茶	1, 455, 985	1, 455, 419	1, 439, 564	1, 456, 003	1, 465, 862
	継	利	ĺ	料	\triangle 37, 654	\triangle 51, 180	△ 89, 457	\triangle 16, 294	\triangle 59, 543
	疶	利	ſ	茶	239, 960	229, 478	176, 902	249, 215	206,771
	争	废	<u>#</u>	俎	239, 606	229, 437	176, 427	248, 915	208,023
ね骸	的 会 計 年 年	、 入 に 編 入 金 度 純	計上 に を 解い 相	たた益	173, 407	168, 116	120, 464	194, 037	157, 320
	世	đ	<i>1</i> _	111111111111111111111111111111111111111	14, 598, 997	14, 404, 933	14, 229, 438	13, 892, 435	13, 862, 031
	口	渔	#	金	5, 471, 710	5, 613, 598	5, 964, 423	6, 346, 383	6, 353, 407
₩	領	₽ 7	回	*	6, 764, 299	7,000,254	7,000,254	7, 439, 129	7,654,175
		本構	成比	率	79. 7%	81.8%	83.7%	87.1%	88.2%
	納	犬	損	額	826	1, 791	453	437	1,092
	業	債 現	在	恒	2, 669, 125	2, 320, 711	1, 989, 540	1, 658, 259	1, 412, 831
	業	債	利	負	70,663	61, 536	53,011	44, 489	35, 875
	殼	改	良	費	487, 450	573,884	621, 057	542, 806	562, 365
神	益的収入 般 会	と質	本的収入繰 入	くの 食	157, 247	154, 227	150, 943	150, 987	150, 135
		Ш(数	13名	12名	14名	15名	15名
۱									

下水道事業会計

1 決算報告書(消費税込み)

当年度における予算及び決算の概要は、別表1に示すとおりである。

(1)収益的収入及び支出について

収益的収入の決算額は、1,722,958,353円で予算現額1,771,218,000円に対し、97.3%の収入率である。

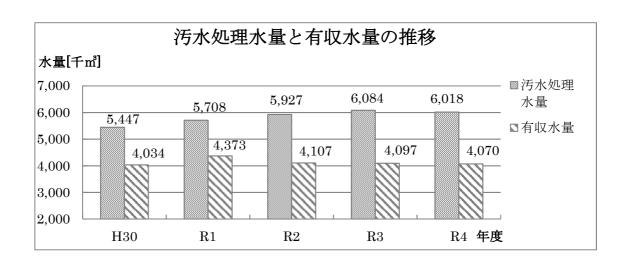
この決算額の内訳は、営業収益795,264,938円、 (構成比46.2%)、営業外収益927,589,942円 (53.8%)及び特別利益103,473円である。

収益的支出の決算額は、1,660,659,395円で予算現額1,742,827,000円に対し、95.3%の執行率で82,167,605円が不用額となり、その主なものは営業費用であった。

この決算額の内訳は、営業費用1,508,431,318円 (90.8%)、営業外費用152,186,211円 (9.2%)及び特別損失41,866円である。

なお、業務実績は次表に示すとおりであり、前年度と比較して、当年度の年間汚水処理水量及び年間有収水量はともに減少となった。

区	分	令和4年度	令和3年度	前 年 度	比 較
	Л	11 加 4 千 及	日相る千及	増減	比率%
① 行政区域内	人口	55,514	56,175	△661	△1.2
② 処理区域内	人口(人)	47,334	48,114	△780	△1.6
③ 水洗化人口	(人)	40,543	40,736	△193	$\triangle 0.5$
普及率(②)	/①)(%)	85.3	85.7	\triangle 0.4	_
水洗化率 ((3/2) (%)	85.7	84.7	1.0	_
④ 年間汚水処	理水量(㎡)	6,018,230	6,084,053	△65,823	△1.1
⑤ 年間有収水	.量 (m³)	4,070,274	4,097,393	△27,119	$\triangle 0.7$
有収率((5) / (4))	67.6	67.3	0.3	
⑥ 下水道使用	料(千円)	698,663	698,139	524	0.1



(2)資本的収入及び支出について

資本的収入の決算額は、204,189,454円で予算現額622,940,000円に対し、32.8%の収入率である。

決算額の内訳は、企業債16,500,000円 《8.1%》、出資金128,520,214円 《62.9%》、 負担金7,661,090円 《3.8%》、補助金51,508,150円 《25.2%》である。

資本的支出の決算額は、807,736,677円で予算現額1,278,984,000円に対し、63.2% の執行率で、翌年度繰越額314,327,600円、不用額156,919,723円となった。

決算額の内訳は、建設改良費94,127,918円 《11.7%》及び企業債償還金713,608,759円 《88.3%》である。

収支不足額603,547,223円を、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,809,716円、過年度分損益勘定留保資金92,244,966円及び当年度分損益勘定留保資金472,392,541円で補てんしており、なお不足する37,100,000円については、令和4年度同意済企業債の未発行分をもって翌年度において措置することとしている。

なお、工事の概況は、次表のとおりである。

区分	件数	金額
改良工事	4 件	59,957,700円
翌年度への繰越工事	3 件	59,186,600円
合 計	7 件	119,144,300円

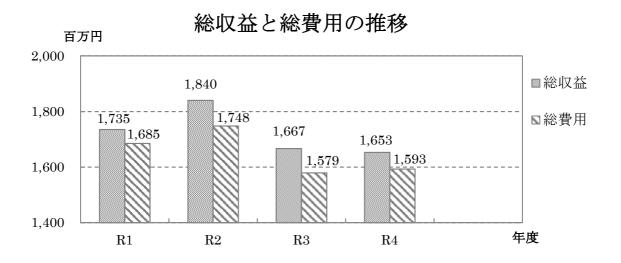
※ 金額は消費税込み

2 損益計算書(消費税抜き)

当年度における損益計算書の概要は、別表2に示すとおりである。

当年度の経営成績は、総収益1,653,082,987円に対し、総費用は1,592,592,201円で差引き60,490,786円の純利益となった。

この結果を前年度と比較すると、総収益は13,482,791円(0.8%)の減、総費用は13,574,209円(0.9%)の増、純利益は27,057,000円(30.9%)の減額となった。



(1) 収益について

営業収益は、725,397,229円で総収益の43.9%を占め、前年度と比較して134,687円(0.0%)の減であった。

営業外収益は、927,591,378円で総収益の56.1%を占め、前年度と比較して13,303,807円(1.4%)の減となった。主な要因としては、他会計補助金4,569,532円(0.9%)及び補助金5,688,295円(58.9%)が減額となったためである。

なお、特別利益は94,380円であった。

(2)費用について

営業費用は、1,475,238,173円で総費用の92.6%を占め、前年度と比較して30,891,703円(2.1%)の増となった。

この主な要因は、公共処理場費が33,317,991円(14.7%)の増となったためである。 営業外費用は、117,315,968円で総費用の7.4%を占め、前年度と比較して 17,253,806円(12.8%)の減となった。主な要因は、支払利息及び企業債取扱諸費が 16,973,452円(13.0%)の減となったためである。

特別損失は38,060円で、前年度と比較して63,688円の減となった。

最 近 3 か 年 の 収 益 率 表

(単位:%)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総収益 対 総費用比率	1 0 5 . 2	1 0 5 . 5	1 0 3. 8
営業収益対営業費用比率	46.0	5 0 . 2	49.2

総収益対総費用比率は、総収益と総費用を対比した相対的な関連を示すもので、 前年度と比較すると1.7ポイント下回った。

当年度は100円の費用に対し103.8円の収入を得たことになる。

営業収益対営業費用比率は、業務活動の能率を示すもので、これにより営業活動の成否が判断されるものである。前年度と比較すると1.0ポイント下回り49.2%となった。

3 貸借対照表

当年度における貸借対照表の概要は、別表3に示すとおりである。

(1) 資産について

当年度の資産総額は、23,658,452,629円で、その内訳は、固定資産23,059,547,220円 (97.5%)と流動資産598,905,409円 (2.5%)である。

固定資産では、構築物819,133,010円、機械及び装置148,749,405円などの減により 前年度と比較して970,323,229円の減となった。

また、流動資産では、現金預金78,424,944円及び前払金93,310,000の増など、前年度と比較して、166,739,106円の増となった。

この結果、資産総額は前年度に比較して803,584,123円(3.3%)の減となった。

最近3か年の資産構成比率表

(単位:%)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定資産構成比率	98.5	98.2	97.5
流動資産構成比率	1.5	1. 8	2. 5

固定資産構成比率は、資産合計に対する固定資産の割合を示すもので、一般にこの 比率は低い方が柔軟な経営が可能となるものの、下水道事業は施設型の企業であるた め高くならざるを得ない。

流動資産構成比率は、資産総額を100とした場合の流動資産の割合を示すもので、 比率が高いほどよい。両方の比率の合計は100%となり、これを前年度と比較すると 固定資産構成比率で0.7ポイント下回り97.5%、流動資産構成比率で0.7ポイント上回 り2.5%となった。

(2) 負債について

負債総額は、15,136,564,714円で、この内訳は、固定負債5,219,728,876円で前年と比較して660,841,504円の減、流動負債808,600,320円で前年と比較して14,875,972円の増、繰延収益9,108,235,518円で、前年と比較して346,629,591円の減で、負債総額は992,595,123円の減となった。

(3) 資本について

資本合計額は8,521,887,915円で、この内訳は、資本金7,850,384,506円で前年と比較して128,520,214円の増、剰余金671,503,409円で前年と比較して60,490,786円の増で、資本合計額は189,011,000円の増となった。

最近3か年の財務比率表

(単位:%)

⊠	<u> </u>	5	}	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固	定	比	率	1 3 9. 0	1 3 5 . 2	1 3 0 . 8
流	動	比	率	42.9	5 4 . 4	7 4 . 1
当	座	比	率	4 2 . 3	5 3. 8	62.5

※固定比率:固定資產÷(資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益)×100

※流動比率:流動資産÷流動負債×100

※当座比率:(現金預金+未収金-貸倒引当金)÷流動負債×100

固定比率は、自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを見る指標であり、 100%以下が望ましいとされているが、下水道事業の場合は建設投資のための財源と して企業債に依存する度合いが高いため、必然的にこの比率が高くなる。

流動比率は、流動負債に対する換金性の強い流動資産の割合を示すもので、企業の

信用度を判断する短期債務に対する支払能力を表わしており、200%以上が望ましく、 100%を下回っていると不良債務が発生していることになる。

当座比率は、流動資産のうち現金預金及び未収金などの当座資産と、短期債務の流動負債との割合を示すもので、事業体の支払能力を厳密に測る指標であり100%以上が望ましい。

4 む す び

以上が、令和4年度土岐市下水道事業会計決算書及び附属書類を審査した結果の概要である。

令和元年度から地方公営企業法を適用し公営企業会計に移行したことから、財政状態や損益情報などの経営情報、資産の現状把握等、適切に管理することが可能となり、事業の効率化や健全な財政運営に取り組んでいる。

下水道事業は、公衆衛生の向上により快適な生活環境を確保することを目的に整備 し、区域拡張を進め、平成30年度から第8期事業認可として下水道整備拡充に努め ている。また、下水道ストックマネジメント計画、下水道総合地震対策計画に基づき、 下水道施設の計画的な改築、更新及び災害対策を行っている。

令和4年度は、公共処理場の建築物及び電気施設と泉地区の下水道管路施設の改築 工事を中心に行った。

本年度の業務状況から決算を見ると、年度末現在の対前年度比較で、処理区域内人口が47,334人と780人(1.6%)減少、同様に水洗化人口が40,543人、193人(0.5%)減少、有収水量は4,070千㎡、27千㎡(0.7%)減少であるものの、下水道使用料は698,663,040円と前年度比523,780円(0.1%)の微増という状況で、純利益60,490,786円となり、黒字決算となっている。

今後の下水道の見込みは、大型商業施設等による安定的な有収水量が見込まれるものの、人口減少や節水意識の向上等により、大幅な伸びは期待できないことが予想される。

また、施設の老朽化に伴う改築更新費用の増大はもちろん、人口減少や生活様式の変化による有収水量の減少に伴う使用料収入の減少、施設老朽化等による不明水量の増加に伴う処理施設への圧迫が課題となっている。

今後は適正な事業計画と財政計画に基づく事業運営を行う必要があり、「土岐市下水道事業経営戦略」を基に適正な改築更新を行うとともに、引き続き水洗化率向上のための広報活動を行い、汚水処理コストの効率化と使用料収入の増加を目指した適正な公共下水道事業を継続されたい。

表 別

密 衣 鯶 氷 鯶 严 継 卌 泗 * *

令和4年度

麦

(%・出	予算現額に 対する決算 額の比率	95.3	95. 1	100.0	20.9	0.0	(※・ E::	予算現額に 対する決算 額の比率	63. 2	16.7	99. 7			
(単位:	用額	82, 167, 605	78, 009, 471	0	158, 134	4,000,000	:	用額	156, 919, 723	154, 463, 482	2, 456, 241			
	繰越額	0	0	0	0	0		繰越額	100. 0 314, 327, 600	314, 327, 600	0			
	構成比	100.0	90.8	9.2	0.0	0.0		構成比	100.0	11.7	88.3			
	決算額	(33, 196, 951) 1, 660, 659, 395	(33, 193, 145) 1, 508, 431, 318	(0) 152, 186, 211	(3,806) 41,866	0		決 算 額 (昨年度繰越額合む)	(7, 187, 194) 807, 736, 677	(7, 187, 194) 94, 127, 918	(0) 713, 608, 759			
	構成比	100.0	91.0	8.7	0.0	0.2		構成比	100.0	44.0	56.0			
丑	予算現額	1, 742, 827, 000	1, 586, 440, 789	152, 186, 211	200,000	4,000,000	内仮払消費税支 出	予算現額	1, 278, 984, 000	562, 919, 000	716, 065, 000			内仮払消費税
収益的支	X A	下水道事業費用	道 業 費 用	営業外費用	特別損失	子備費	※()は、内()に、内()()に、内()()に、()に、()に、()に、()に、()に、()に、()に、()に、()	以	資本的支出	建設改良費	企業債價 選金			※ () は、内(
	予算現額に 対する決算 額の比率	97.3	96. 8	97.7	1034.7		*	予算現額に 対する決算 額の比率	8	5.2	100.0	72.7	31.3	
	子算現額に 比べ決算額 の 増 減	△ 48, 259, 647	△ 26, 662, 062	△ 21, 691, 058	93, 473			子算現額に比べ決算額の 増 減	\triangle 418, 750, 546	△ 302, 700, 000	982	△ 2,874,910	△ 113, 174, 850	《日恩分库米里里人员》 田乡
	構成比	100.0	46.2	53.8	0.0			構成比	100.0	8.1	62.9	3.8	25. 2	1 CC CC F
	決算額	(69, 876, 910) 1, 722, 958, 353	(69, 867, 709) 795, 264, 938	(108) 927, 589, 942	(9,093) 103,473			決算額	(0 0) 204, 189, 454	16, 500, 000	128, 520, 214	(0 0) 7,661,090	51, 508, 150	※() は、内仮受消費 税※本は日本のよびは十三年の第一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二
	構成比	100.0	46. 4	53.6	0.0			構成比	100.0	51.2	20.6	1.7	26. 4	1 11 21
	予算現額	1, 771, 218, 000	821, 927, 000	949, 281, 000	10,000		受消費 税	予算現額	622, 940, 000	319, 200, 000	128, 521, 000	10, 536, 000	164, 683, 000	受消費稅
坂猫的収入	X X	下水道事業収益	河 業 石 社	営業外収益	特別利益	_	※()は、内仮受消費税 52 	N A	資本的収入	企 業 債	出簽金	負 担 金	補助金	※ () は、内仮

※()は、内仮受消費税※()※補填財源は、当年度分消費稅及び地方消費稅資本的収支調整額 1,809,716円、過年度損益勘定留保資92,244,966円、当年度分損益勘定留保資金 472,392,541円並びに令和4年度同意済企業債未発行分37,100,000円

令和4年度

 $^{\circ}$

別表

令和3年度

丰 陣 11111111 粸 比較損 渊 ተ 道水下 (単位: 円・%)

	#	H	<i>₩</i>				-		띡	*	6	44		1	, ,
/	K	Ę		-			1		۲ <i>۲</i>		Co	- 1		=	
\/ \\	令和4年度	中义	令和3年度		全 全	前前	前年度	次 図	令和4年度		令和3年度	11	1	2	前年度
科目	金額	構成比	金額欄	構成比	Ť.	797	対比率	科目	金額	構成比	金額	構成比			対比率
営業費用	1, 475, 238, 173	92.6	1, 444, 346, 470	91.5	30, 8	891, 703	102.1	営業収益	725, 397, 229	43.9	725, 531, 916	43.5	\triangleleft	134, 687	100.0
公共管渠費	69, 175, 108	4.3	64, 197, 722	4.1	4, 9	977, 386	107.8	使 用 料	698, 663, 040	42.3	698, 139, 260	41.9		523, 780	100.1
農集管渠費	709, 690	0.1	417,600	0.0		292, 090	169.9	一般会計負担金	26, 539, 474	1.6	27, 312, 442	1.6	\triangleleft	772, 968	97.2
公共ポンプ場費	18, 957, 772	1.2	16, 846, 813	1.1	2,	110,959	112.5	その他営業収益	194, 715	0.0	80, 214	0.0		114, 501	242.7
農集ポンプ場費	3, 641, 165	0.2	3, 124, 928	0.2		516, 237	116.5								
公共処理場費	259, 656, 468	16.3	226, 338, 477	14. 3	33, 3	317, 991	114.7								
農集処理場費	10, 369, 233	0.7	13, 602, 449	0.9	△ 3, 2	233, 216	76. 2								
公共総係費	35, 431, 208	2.2	36, 471, 615	2.3	\triangle 1, (040, 407	97.1	営業外収益	927, 591, 378	56. 1	940, 895, 185	56.5	\triangleleft	13, 303, 807	98. 6
農集総係費	173, 632	0.0	174, 821	0.0	\triangleleft	1, 189	99. 3	他会計負担金	0	0.0	0	0.0			
滅 価 償 却 費	1, 076, 541, 521	67.6	1, 082, 468, 231	68. 6	△ 5, 9	926, 710	99. 5	他会計補助金	503, 902, 896	30.5	508, 472, 428	30.5	\triangleleft	4, 569, 532	99. 1
資産減耗費	582, 376	0.0	703, 814	0.0	\triangleleft	121, 438	82.7	長期前受金戻入	419, 692, 753	25. 4	422, 505, 106	25. 4	⊲	2, 812, 353	99. 3
営業外費用	117, 315, 968	7.4	134, 569, 774	8.5	△ 17, 2	253, 806	87.2	補助金	3, 973, 100	0.2	9, 661, 395	0.6	\triangleleft	5, 688, 295	41.1
支払利息及び								維収益	22, 629	0.0	256, 256	0.0	⊲	233, 627	8.8
企業債取扱諸費	113, 211, 211	7.1	130, 184, 663	8. 2	△ 16,9	973, 452	87.0								
A 大 田	4, 104, 757	0.3	4, 385, 111	0.3	◁	280, 354	93. 6								
特別損失	38, 060	0.0	101,748	0.0	◁	63, 688	37.4	特別利益	94, 380	0.0	138, 677	0.0	\triangleleft	44, 297	68. 1
過年度損益修正損	38, 060	0.0	100, 120	0.0	\triangleleft	62, 060	38.0	過年度損益修正損	94, 380	0.0	138, 677	0.0	\triangleleft	44, 297	68. 1
その他特別損失	0	0.0	1,628	0.0	◁	1,628	0.0	その他特別利益	0	0.0	0	0.0			
							<u> </u>								
小計	1, 592, 592, 201	100.0	1, 579, 017, 992	100.0	13, 8	574, 209	100.9	小計	1, 653, 082, 987	100.0	1, 666, 565, 778	100.0	\triangleleft	13, 482, 791	99. 2
当年度純利益	60, 490, 786		87, 547, 786		△ 27, 0	057,000	69. 1	当年度純損失							
alle ⟨C	1, 653, 082, 987		1, 666, 565, 778		<	482, 791	99. 2	1 111111	1, 653, 082, 987		1, 666, 565, 778		<	13, 482, 791	66.
			21. (22.) (22.)		601		1		1000000		21 (22) (22)		1	101601	

令和4年度

 \mathfrak{S}

麦

沼

令和3年度

1

表 滛 衣 典 貧 粶 丑 継 曲 泗 长

88.8 101.9 93.8 109.9 88.8 94.9 108.0 100.6 95.9 160.6 101.7 101.7 100.0 96.7 96.3 102.3 前年度 対乃帝 173. 126. (%・出: 463,000 490, 786 123 595, 123 504 504 50, 648, 866 371,000 14,875,972 60, 490, 786 189, 011, 000 128, 520, 21 346, 629, 59 鬞 36, 267, 520, 584, 841, 841, 雬 128, 60, 660, 992, 660, 榖 丑 \triangleleft 恕 24.0 24.0 3.2 2.9 0.3 0.0 0.0 38. 4 0.3 62. 9 31.6 31.6 2.5 0.9 100.0 38. 7 34. 1 752 380 380 793, 724, 348 713, 608, 759 69, 283, 264 5, 795, 000 9, 454, 865, 109 ,382 727 837 611, 012, 623 382, 202, 026 228, 810, 597 ,876,915 292 7, 721, 864, 292 5,037,325 令和3年 緻 570, 570, 537, 036, 9, 384, 327, 16, 129, 159, ,864, 5,880, 24, 462, (5, 880, 7, 721, 8, 332, 竺 金 構成比 64.0 2.8 1.6 36.0 100.0 22. 1 3.4 2.9 0.5 0.0 0.0 38.5 38.0 0.5 33. 2 33.2 1.2 22. 1 빤 4年度 倒 876 5, 219, 728, 876 808, 600, 320 677, 341, 504 119, 932, 130 6, 258, 000 5,068,686 9, 108, 235, 518 956, 382 136 564, 714 506 503, 409 202,026 887, 915 658, 452, 629 7,850,384,506 289, 301, 383 緻 113, 279, 728, 384, 哈和. 8, 994, 15, 136, 8, 521, 671, 382, 7,850, 金 23, 期前受金仮 勘定前受金 利益剰余金 4 その他流動負債 資本剰余金 自己資本 讏 金 金 債 \boxtimes 並 11111111 繰延収益 固定負債 流動負債 継 $^{\cancel{1}}$ 翭 剰余金 資本金 Ш 長設期 4 심 # Ē 献 <□ 資本の部 負債の部 100.0 93.6 0.0 96.0 96.2 87.0 100.0 138.6 122.2 100.0 96. 7 対比率 83.3 106.8 前年度 123 148, 749, 405 229 836,000 93, 310, 000 5,000,000 819, 133, 010 11, 380, 24 78, 424, 94 鬞 584, 1 896, 166, 739, 323, 严 970, 803, 松 丑 \triangleleft \triangleleft \triangleleft 0.7 0.0 0.0 98.2 88.9 0.6 0 100. 郶 ,449 90, 764 462, 036, 752 5,000,000 832, 360 884, 342 536, 218 1, 140, 367, 454 5, 352, 736 575 432, 166, 303 令和3年 額 870, 74,033, 353, 133, 144,806, 178, 24, 029, 21, 744, ④ 24, 構成比 0.0 100.0 97.5 0.7 88.4 0.0 0.7 2.5 0.3 90, 764 629 547, 220 20, 925, 403, 208 832, 360 991, 618, 049 154, 642, 575 504, 101 4, 456, 163 431, 558, 045 93, 310, 000 905, 406 74, 037, 364 令和4年) 緻 658, 452, 059, 167, 598, 23, 扭 物 物 金 金 金 圕 工具器具及び備品 搬 垂 類 11111111 灃 撚 囡 멎 44 その他流 金 車両 榖 機械〕 流動資産 ∢□ 固定資産 構 世 * 湿 型 \mathcal{H} ປ Ш

別表 4

下水道事業の最近5事業年度に係る主要な経営指標等の推移

			7/1/	且ず来	//	「小児ず来が釈処らず来十及に诉る	及に所る工安な胜百相除すび知多	7.71五多	(単位:千円)	
	区			年	度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	河	業	以		俎	I	719, 445	729, 823	725, 532	725, 397
凝 :	河	業	利		俎	1	\triangle 762, 142	△ 857, 480	\triangle 718,815	\triangle 749, 841
<u>i</u> n 1	滋	疟	黑		俎		80, 486	95, 770	87, 511	60, 434
次 禁	汌	年度	紫	重	坩	l	49, 787	91, 476	87, 548	60, 491
	以 一 油 類 競	的 収 入 会 計 繰 年 度	、 に 計 を を を	上除型しい	たた猫		△ 550, 963	△ 563, 367	△ 448, 237	\triangle 469, 952
	資	華	⟨□		11111111	ı	26, 184, 057	25, 314, 070	24, 462, 037	23, 658, 453
	₩П	巾	(A)	 	④		7, 438, 681	7, 581, 624	7, 721, 864	7,850,385
	墨	が 会 つ	田口	渱	*		7, 870, 669	8, 105, 089	8, 332, 877	8, 521, 888
对 苄	畑口	資料	構成	丑	掛		69. 1%	70.8%	72.7%	74.5%
公 说	K	納	大	幫	額		673	1,465	184	398
	쇕	業債	强	在	恒	1	7, 906, 632	7, 231, 400	6, 594, 179	5, 897, 070
	金	業	債利	利	追		166, 766	148, 302	130, 185	113, 211
И	垂	京区	改	型	華		392, 472	210, 621	193, 167	94, 128
の色	□ 村 本	的収入 般 会	と 資 本 脱 計 編	本的収入 繰 入	の金	I	831, 539	797, 787	676, 025	658, 963
	職		Ė		数		10名	12名	11名	12名